

Local is
Beautiful!

しあわせの経済

世界フォーラム 2017 in 東京



絵：ハーニー・ダッタ・アリー
1969年、イラク・アンバール県生まれ。
バグダード造形芸術院卒業。2005年、
イラク情勢の悪化によりヨルダン・アン
マンに一家で避難。ヨルダン、イラク、レ
バノンなどで個展を開催、祖国への思い
を表現し続けている。2016年にはナツ
メヤシの手すき紙を使用した新シリーズ
「ナツメヤシと農婦」を発表。2017年春に
は3度目の来日を果たし、京都、仙台、東
京で個展「ラヒール・ワタン〜祖国、我を
去りて」を開催。メッセージはコチラ↓
economics-of-happiness-japan.org/hani

2日目 プログラム

2017年11月12日(日) 明治学院大学 白金キャンパス

9:00～ パレットゾーン白金 2F インナー広場にて受付 | 開催時間 9:30～17:20

入場無料

お願い

昼食はシェアランチで
「しあわせの経済」を実体験！
お弁当または料理一品を
お持ち寄りください。



TOKYO 2017

Local is Beautiful!

「しあわせの経済」世界フォーラムによろこそ!

世界が数々の深刻な危機に直面する今、こうして日本で、世界のあちこちから集った皆さんと一堂に会して、明るく希望に満ちた展望を分かち合えることは、私にたちにとって、この上ない喜びです。

私たちはローカリゼーションこそが未来への道であり、同時に世界が抱える多くの問題を解決する鍵だと考えています。実はそれこそが、現在各国政府が進んでいる道に比べて、はるかに出費も、犠牲も少なく、現実的な道筋なのです。それは、単なる理論ではありません。すでに世界中で、数えきれないほどのワクワクするような素晴らしいローカル化プロジェクトが進行中なのです。

従来の情報源や主流メディアに頼るのではなく、世界の各地の“地面”で起こっている事実とつながる。するとだんだん、ある“形”が見えてきます。そして、これまで当たりまえだと思われてきた経済についての“常識”には、実は何の根拠もなかったということが明らかになります。

“貿易は常によいことで、多ければ多いほどよい”、“成長は常によいことで、早ければ早いほどよい”などという思い込みのせいで、各国政府はこぞって、グローバル市場の規制緩和を歓迎し、その結果、私たちにあって本当に大切なものが逆に圧迫されることになりました。グローバル金融機関は今も、大規模でエネルギー浪費型のテクノロジー開発のために何兆ドルという資金を創造する一方で、環境破壊と失業を生み出し続けているのです。

しかし同時に、世界中で、ますます多くの経済学者、環境派、社会活動家たちが“ニュー・エコノミー(新しい経済)”という運動の輪に結集しつつあります。彼らは一致して、現在の社会的危機と環境危機を乗り越えるためには、根本的な方向転換が必要だ、と考えています。

そして今、雨後の筍のように世界中に姿を現した新しいプロジェクトの数々は、どれも、深い人間的なニーズに応えようとする試みです。何百万というローカル・フードのプロジェクトから、ローカル・ビジネス連合、ローカル金融、ローカル再生エネルギーのプロジェクトまで…。

こうした国際的なローカリゼーション運動を一層強化していくためには、政治活動とコミュニティ活動の両方が必要です。これまで大規模でグローバルなものばかりを助けて、小さくてローカルなものを犠牲にしてきた政策を転換しなければなりません。そして同時に、よりよい世界を地域コミュニティからつくるための草の根運動に参加し、あるいはそれを支援するのです。

残念なことには、まだ多くの人々は“グローバルか、ナショナルか”という不毛な議論に囚われています。グローバリズムもナショナリズムも中央集権的で産業中心主義的な社会のあり方を信奉する点では変わりません。

しかし、もし私たちが人間界と自然界にとっての根本的なニーズを認めるなら、ローカリゼーションこそが残された道筋だということとは明らかでしょう。だからこそ、私たちはそれこそが“しあわせの経済”への道だ、と言うのです。

私たちは確信しています。生態系を、社会的な絆を、真の民主主義を、そして公正な経済を蘇らせるための、最も手っ取り早くて、効果的な方法は何か? それは、世界中でローカル経済を育て上げることです。

「しあわせの経済」世界フォーラムに集う皆さん。ぜひ一緒に“しあわせの経済”の輪を広げ、人間界にとっても自然界にとっても、より幸せな世界をつくっていきましょう。

実行委員会を代表して

ヘレナ・ノーバグ=ホッジ

ローカル・フューチャーズ代表
(イギリス)

スウェーデン出身。1975年、インド・ラダック地方への外国人入域が許可された後の最初の訪問者の一人。急速に進む開発とそれに伴う文化と自然環境の破壊を憂い、現地の人々とラダックの持続可能な発展を目指すプロジェクトに取り組み、もう一つのノーベル賞として知られる「ライト・ライブリッド賞」を1986年に受賞。40カ国以上で訳された著書『ラダック 懐かしい未来』は世界中で大きな影響を与えた。また、グローバリゼーションを痛烈な批判し、ローカリゼーションへの筋道を示した映画『幸せの経済学』を制作。以後、「ローカル・フューチャーズ」を設立し、「しあわせの経済」会議を世界各地で開催、国際ローカリゼーション運動の最先頭に立つ。



辻 信一

「しあわせの経済」世界フォーラム2017
実行委員会 呼びかけ人代表

明治学院大学国際学部教員。1999年にNGO「ナマケモノ倶楽部」を設立、以来その世話人を務める。「スローライフ」、「100万人のキャンドルナイト」、「GNH(国民総幸福)」などの環境=文化運動を提唱。2014年、「ゆっくり小学校」を開校。『スロー・イズ・ビューティフル』(平凡社)、『よきことはカタツミのように』(春秋社)など著書多数。映像作品にDVDシリーズ「アジアの叡智」(現在6巻)がある。

「しあわせの経済」へ! ~ ヘレナ&辻信一からのメッセージ ~

http://economics-of-happiness-japan.org/helena_video0910

Local is
Beautiful!

しあわせの経済

世界フォーラム 2017 in 東京

【主催】

ローカル・フューチャーズ(イギリス、代表:ヘレナ・ノーバーク=ホッジ)
「しあわせの経済」世界フォーラム2017実行委員会(呼びかけ人代表:辻信一)

【共催】 明治学院大学/明治学院大学国際学部附属研究所

【協賛】 株式会社ウインドファーム/城南信用金庫/パタゴニア日本支社/パルシステム生活協同組合連合会、
株式会社パルシステム・リレーションズ/株式会社素敬 ゆっくり小学校

【協力】 株式会社良品計画

【実行委員(五十音順)】 財団法人22世紀に残すもの/国際環境NGO 350.org Japan/アズワンネットワーク鈴鹿コミュニティ/株式会社アバンティ/特定非営利活動法人APLA/天の製茶園/特定非営利活動法人いい会社をふやしましょう/いとるカレッジ/株式会社ウインドファーム/特定非営利活動法人うず/エコ・コンシャス・ジャパン合同会社/特定非営利活動法人えこびれっじネット日本GEN-Japan/Eco-Branch/一般社団法人エシカル協会/国際環境NGO FoE Japan/有限会社カフェスロー/特定非営利活動法人カフェ・テラ・テラ/くらしのはなし. 暮譚ぼたん/くらしフト研究所/特定非営利活動法人グリーンズ/見樹院/公益財団法人五井平和財団/環境広告サステナ/一般社団法人サステナビリティ・ダイアログ/幸せ経済社会研究所/一般財団法人CSOネットワーク/特定非営利活動法人ジュレー・ラダック/城南信用金庫/有限会社スロー/SFさっぽろ/SFしむかっぶ/SFフレンズ北海道/脱成長ミーティング/特定非営利活動法人セブン・ジェネレーションズ/善了寺/株式会社素敬 ゆっくり小学校/種まき大作戦 実行委員会/地球のゆかいな仲間たち/十勝オーガニックヴィレッジ/特定非営利活動法人トランジション・ジャパン/NPO懐かしい未来/環境=文化NGOナマケモ倶楽部/日本大学法学部・佐渡友哲ゼミ/のこたべ/農力向上委員会/ハコネエコビレッジ/パルシステム生活協同組合連合会/生活協同組合パルシステム東京/日中市民社会ネットワーク/株式会社プラスエステート/明治学院大学国際学部・辻信一ゼミ/米原ルッチまちづくりネット/有限会社メノビレッジ長沼/モザンビークのいのちをつなぐ会/ユナイテッドピープル株式会社/リニア・市民ネット東京/LoCoTAbLe(ろこたぶる)

※ご賛同、ご支援ありがとうございます。(五十音順)

アグリシステム株式会社/アズワンネットワーク鈴鹿コミュニティ(特活)APLA/一般社団法人エシカル協会/NPOえこびれっじネット日本GEN-Japan/おふくろさん弁当/オリジナルTシャツ亀吉/有限会社カフェスロー/共生食品株式会社/金三郎十八代目/孝道山/SFさっぽろ/SFしむかっぶ/SFフレンズ北海道/NPOセブン・ジェネレーションズ/善了寺/大地を守る会/ネクスト・エナジー・アンド・リソース株式会社/パワーシフトキャンペーン/株式会社まほろば/ユナイテッドピープル株式会社/LoCoTAbLe(ろこたぶる)

【お問合せ(実行委員会事務局)】「しあわせの経済」実行委員会(事務局:ナマケモ倶楽部)

〒136-0072 東京都江東区大島6-15-2-912 Tel/Fax 03-3638-0534 Mail info@sloth.gr.jp



城南信用金庫

patagonia

pal-system

pal-system relations.

ゆっくり小学校

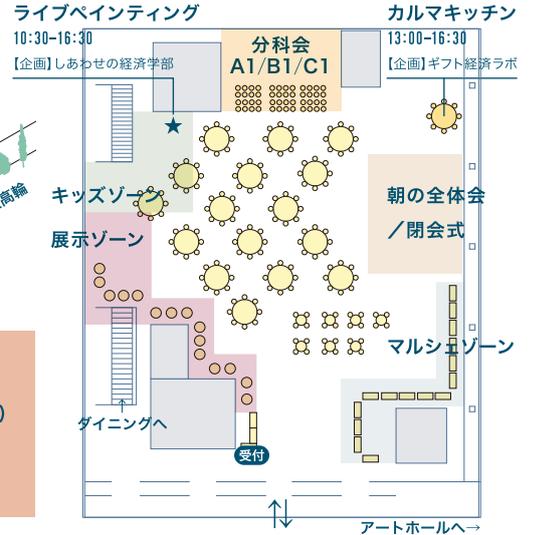
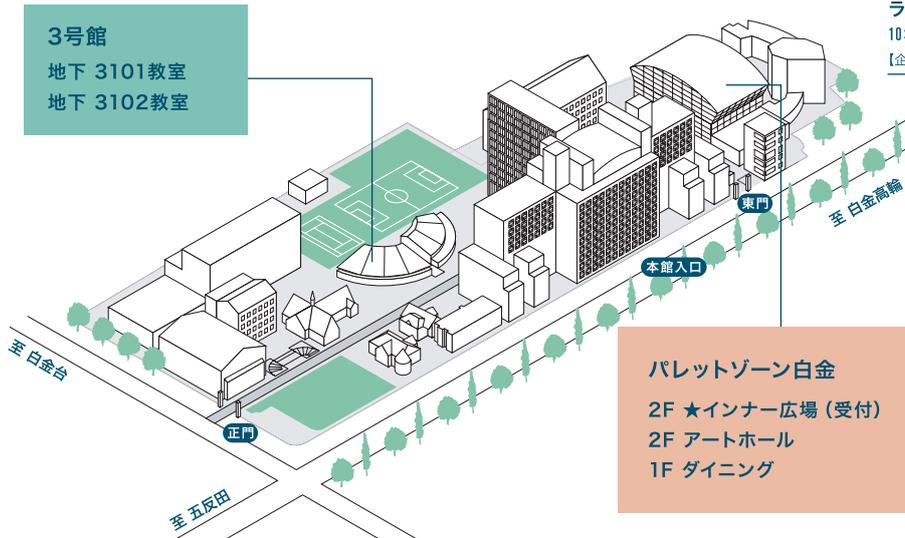
メインイベント終了後も、「しあわせの経済」のムーブメントを広げるために、各地でゲストを招いて衣食住、農、エネルギー、地域再生、教育、金融など、様々なテーマで語り合うカフェを開催します。詳細は「しあわせの経済」世界フォーラムのホームページをご確認ください。あなたの参加お待ちしております！



economics-of-happiness-japan.org

🌀 明治学院大学 白金キャンパス 会場案内

🌀 インナー広場 レイアウト



🌀 プログラム&タイムテーブル

	パレットゾーン			3号館		
	インナー広場 2F	ダイニング 1F	アートホール 2F	3102教室 地下	3101教室 地下	
9:30-10:20	朝の全体会 *1			-	-	
10:30-12:00	ブース&マルシェ	A-1	A-2	-	A-4	
12:00-13:15		シェアランチ *2		-	-	
13:15-14:45		B-1	B-2	B-3	B-4	B-5
15:00-16:30		C-1	C-2	C-3	C-4	C-5
16:45-17:20	閉会式 *3			-	-	

*1 朝の全体会 9:30-10:20 【進行】辻 信一 / 末吉 里花

海外ゲストたちと朝の挨拶を交わしながら、本会議で報告された世界的な潮流としてのローカリゼーション運動を振り返りながら、分科会を前に「しあわせの経済」を彩る多様なキーワードを予習します。

*2 シェアランチ 12:00-13:00 ★みんなで「しあわせの経済」を実体験！自分の「食べもの」をシェアすることで、参加者同士が仲良くなる時間。

メイン会場のインナー広場2Fでは、「しあわせの経済」をみんなでプチ体験するシェアランチ会を開催。お弁当や一品をもちより、ふだんは学食として使われているまあるいテーブルに座り、お隣さんと「こんにちは」と会話をしながら、食べ物交換&情報交換しませんか？（遠くから泊りがけでフォーラムに参加している方、お弁当をつくる時間がなかったという方は、ブースでもオーガニックのお弁当(数量限定)もお買い求めいただけます。） ※ご注意！：当日は日曜のため、学食はしまっています。

*3 閉会式 16:45-17:20 ★最後に記念撮影を行います。ぜひ記念に閉会式に参加ください。

日本で初開催となった「しあわせの経済」世界フォーラムを振り返り、参加した一人ひとりが、どんなギフトを自分の暮らしに、家族に、地域に持ち帰れるかを確認します。

🌀 「しあわせの経済」ブース&マルシェ

インナー広場

北海道から宮崎まで、日本、東ティモール、タイから南米エクアドル、メキシコまで。生態系に寄り添いながら、森やいのちを大切にしたい営みを紡ぎ、支えるメンバーたちが、一日限りの「しあわせの経済」ブース&マルシェに集いました。よき出逢いが生まれますように。

- 国際環境NGO350.org Japan ●アズワンネットワーク鈴鹿コミュニティ ●株式会社アバンティ ●NPO法人APLA ●石徹白洋品店 ●株式会社ウインドファーム
- えこびれっじネット日本GEN-Japan ●カフェスロー ●オリジナルTシャツ亀吉 ●ギフト経済ラボ ●金三郎十八代目 ● commons ●NPOトランジション・ジャパン ●「しあわせの経済」学部 ●幸せ経済社会研究所 ●NPOジュレー・ラダック ●CSOネットワーク ●ストップニア市民の会 ●有限会社スロー ●スローウォーターカフェ ●NPOセブン・ジェネレーションズ ●ナマケモ倶楽部 ●ネクスト・エナジー・アンド・リソース株式会社 ●パワーシフトキャンペーン ●パタゴニア日本支社 ●ベン&ジェリーズ ●緑の党グリーンズ・ジャパン ●R水素ネットワーク ●LoCoTable(ろこたぶる)

さあ、「しあわせの経済」世界フォーラム2日目は始まりです！世界、日本からの報告が続いた1日目を振り返りつつ、2日目は午前午後と展開されるテーマ毎の分科会に参加し、さらに深く学んでいきましょう。そして、このフォーラムをきっかけに、私たち自身、一人ひとりが「しあわせの経済」を考え、実践し、発信し、世界に広がるローカリゼーション・ムーブメントにつながっていきましょう。

A-1 ローカル × エシカル × 地球にやさしい金融 【企画】 350.org Japan

インナー広場

地 球環境問題、難民問題の深刻化や保護主義的な政策が次々と打ち出されている現在の世界において、資本主義とグローバルマネーが生み出した「グローバル化の限界」が様々な局面で見えはじめています。これらの課題解決に向けて注目されているのが「ローカリゼーション」、「エシカル消費」、そして「責任ある金融」です。一方で、日本のエネルギー分野では、目先の利益と「コスト削減」のために原発再稼動が行われようとしていて、最も汚い化石燃料を使用する石炭火力発電所の増設計画が40機分進められようとしています。よりローカル、エシカル、かつ持続可能な社会の実現に向けて、今まで日本の発展を支えてきた金融機関の役割とはどのようなものなのでしょう？また、一般消費者として、どのような選択肢があるのでしょうか？

【トーク】 ジョージ・ファーガソン(建築家、元プリストル市長、イギリス) / 吉原 毅(城南信用金庫顧問)
/ 新井 和宏(鎌倉投信ファンドマネージャー) / 末吉 里花(一般社団法人エシカル協会代表理事)
/ 古野 真(350.org JAPAN代表)



A-2 伝統文化に学ぶ「しあわせの経済学」 【企画】 NPOジュレー・ラダック

ダイニング

ヒ マラヤ山脈西端。標高4000m近くに主都を置き、世界最後の桃源郷とも称される「ラダック」地域。一年の半分以上が氷点下15度を超す極寒の地です。岩肌がむき出した黄土色の山々には人が手を加えない限り木々が根をはることは滅多にありません。1970年代まで外国人の入域が許可されていなかったため、今も千年前と同じ伝統的な生活を維持している地域が多く残っています。そんなラダックからの特別ゲストと、ローカリゼーションの第一線で活動するヘレナさんをお迎えし、ラダックの人々の「しあわせ」の価値観などを例に、近代化で流されていく伝統文化や、本当の「しあわせ」、経済の仕組みについて考えます。

【トーク】 コンチョック・ワンドゥ(仏教中央大学(CIBS)学長、ラダック) / スタンジン・ドルジェ(映像作家、ラダック)
ヘレナ・ノーバーク=ホッジ
【モデレーター】 スカルマ・ギルメット(NPOジュレー・ラダック代表)



A-3 「雑」とローカル × しあわせ 【企画】 明治学院大学 国際学部付属研究所

アートホール

「雑」 という概念の可能性を探求する共同研究「雑の研究」(高橋源一郎、辻信一)が主宰する、雑談風の雑学トークショー。ゲストには、アカデミズムにとらわれない雑(間専門的でフレキシブル)なスピリットを誇る田中優子と山崎亮。「雑」にとっては苛酷な新自由主義とグローバル化の時代とは、同時に、「幸せ」が「豊かさ」の尻に敷かれ、「ローカル」が弱者と敗者の代名詞になった時代でもあった。そのグローバル化を超えることなしに、人類の未来がないということがますます明らかになりつつある今、いよいよ「雑なるモノゴト」(多様性、境界性、混合性、マイナー性、不合理性、計量不能性…、etc.)の復権と知のプリコラージュによって、「懐かしい未来」をたぐり寄せる絶好の機会が訪れている!?

【トーク】 高橋 源一郎(明治学院大学教授) / 田中 優子(法政大学総長)
/ 山崎 亮(コミュニティデザイナー、東北芸術工科大学教授) 【モデレーター】 辻 信一



B-1 スピリチュアリティと「しあわせ学」 【企画】 NPOセブン・ジェネレーションズ

インナー広場

私 たちのしあわせはどこにあるのでしょうか？物質的には恵まれ、豊かな国である日本。けれど、格差は広がり、日本人の6人に1人は貧困層とも言われています。私たちが誰も取り残さずにしあわせになるにはどうしたらいいのでしょうか？幸福学の第一人者である慶應SDM教授の前野隆司さん、GNH(国民総幸福)を国家の発展の指標として打ち出しているブータンよりネテン・ザンモさん、インドで仏教をベースにディア・パークを運営するブラシャント・ヴァルマさん、NPO法人セブン・ジェネレーションズ理事・鳥谷部愛で、いまここからしあわせでいることを考えます。

【トーク】 前野 隆司(慶応大学教授) / ネテン・ザンモ(持続可能なコミュニティ運動の指導者、ブータン)
/ ブラシャント・ヴァルマ(「ディア・パーク」事務局長、インド)
【モデレーター】 鳥谷部 愛(NPOセブン・ジェネレーションズ)



B-2 地域経済を取り戻す 【企画】 幸せ経済社会研究所/コモンズ

ダイニング

グ ローカル化された経済に翻弄されるのではなく、外的な衝撃にもしなやかに強い、レジリエントで幸せな地域をつくるためには、地域経済を取り戻す必要があります。地域はどのように経済(暮らし)を自分たちの手に取り戻すことができるのか、具体的な考え方や枠組み、方法論や事例を日本国内・海外から持ち寄り、「地域からのしあわせな経済」を考えていきます。

【トーク】 ジョージ・ファーガソン(建築家、元プリストル市長、イギリス) / 枝廣 淳子(東京都市大学環境学部教授、幸せ経済社会研究所所長) / 大江 正章(コモンズ代表、ジャーナリスト) / 許 文卿(全州大学教授、韓国)



B-3 都市とローカリゼーション ~日本のローカリゼーションを实际やってみて地域はどう変わったか？

アートホール

【企画】 NPOトランジション・ジャパン/えこびれっじネット日本 GEN-Japan

コ ミュニティのつながりを取り戻す試みとして、各地で展開されてきたローカリゼーションやトランジション活動。安心、日常の豊かさ、お金の依存しない楽しみ、信頼のネットワーク…。そこから生み出された「目に見えない」豊かな実りは、確実にコミュニティに変化をもたらしています。10年におよぶローカリゼーションの活動が地域に作りだした「違い」を探求します。

【トーク】 吉田 俊郎・小山 宮佳江(NPOトランジション・ジャパン共同代表) / 大村 淳(トランジション浜松)
/ 小野 雅司(アズワンネットワーク鈴鹿コミュニティ) / 片山 弘子(えこびれっじネット日本GEN-Japan代表理事)
/ ジャン・ランイン(中国) 【コメント】ヘレナ・ノーバーク=ホッジ



B-4 ローカル×食・農 ～「食卓」から創る「未来」～

3号館3102教室

【企画】パルシステム連合会/パルシステム東京/NPO法人APLA/SF北海道/LoCoTable(ロコダブル)

「食」 卓に並ぶ食材をどう選ぶか、どう作るか、で子どもたちの未来が決まる」と言ったら、突拍子もない話に聞こえるでしょうか。「ローカリゼーション」の考え方の一つとして、できるだけ国内の顔が見える範囲や地域の中で、食糧やエネルギーを調達し、地域内で循環する経済をつくるのが望ましい、という考えがあります。このような「食・農を中心に地域内で経済をまわす」取組は、すでに日本中で広がっています。「ローカル×食・農」分科会では、そんな取組を実践するゲストからお話を聞き、「私たちにできること」を一緒に考えます。輸入飼料への依存を減らし、日本のお米を食べて育った「こめ豚」の試食もあります！

【トーク】島村 菜津(ノンフィクション作家)/豊下 勝彦(ポークランドグループ代表)/牧野 直子(料理研究家)
/野々山 理恵子(パルシステム東京理事長、パルシステム連合会副理事長)



C-1 ポスト福島のエネギーにみるローカリゼーション 【企画】パワーシフトキャンペーン

インナー広場

2 011年の震災・原発事故から6年半。当時、考え方が大きく変わったという方も多くかもしれません。エネルギーのあり方についても、「関係のうすい遠くのこと」から身近な問題として考えるようになりました。世界では、企業や自治体、大学などが相次いで再生可能エネルギー100%調達を宣言し、日本でも各地で、エネルギー自立を目指す興味深い動きが始まっています。私たちのくらしもつながっています。一緒に考えてみましょう！

【トーク】渡邊 智恵子(株式会社アバンティ代表)/吉田 俊郎(トランジション南阿蘇代表)
/平野 彰秀(地域再生機構副理事長)/大河内 秀人(見樹院住職)
【モデレーター】吉田 明子(パワーシフトキャンペーン)



C-2 森林農法に学ぶローカリゼーション 【企画】株式会社ウインドファーム

ダイニング

「森」 を守り、育む森林農法。木を切らず、森を守りながらさまざまな作物を栽培するこの方法は、世界的に注目されています。この森林農法で有機コーヒーを育て、自らの手で自然を守り、皆がしあわせに生きられる社会づくりに取り組むレオナルドさん(メキシコ)、フランクリンさん(エクアドル)、スウェさん(タイ)。モデルケースとも言えるその地域づくりのお話を伺っていきます。彼らとフェアトレードを通してつながってきた中村隆市(ウインドファーム)からは、森林農法の素晴らしさを紹介すると共に、彼らが直面している鉱山開発というグローバリゼーションの問題についてもお伝えします。

【トーク】レオナルド・ドゥラン(トセパン協同組合プロジェクトリーダー、メキシコ)/フランクリン・ヴァカ(インタグコーヒー生産者協会会長、エクアドル)/スウェ(シワコーン・オドチャオ)(レイジーマン農園スタッフ、カレン族、タイ) 【モデレーター】中村 隆市(ウインドファーム代表)



C-3 できることから自給する!～ローカルシフトのはじめ方～ 【企画】農力向上委員会

アートホール

毎 日の忙しさに流されて、ファーストフードやコンビニ弁当で食事をすませしてしまう。そんな日々を癒そうと、休日には話題のレジャーに興じてしまう。そして、テレビCMでその気になって、新商品を衝動買いしてしまう。気がつけば、私たちの豊かなはずな日常生活は「仕込まれた消費」で彩られています。そう、気づかないうちに、グローバルな市場経済が仕掛けた「甘い誘惑」に絡み取られているのです。他人任せにせず、自分たちでこの「民」から抜け出すには、どんなステップを踏んだらよいか。「しあわせの経済」世界フォーラムの「ローカルシフトのはじめ方」分科会では、社会で頭在化してきた「成長の限界」と迫りくる世界的な食糧危機」という現実を踏まえたうえで、「できることから自給する!」ははじめの一歩を探り、実践につなげたいと思います。ぜひともに「ローカルシフト」を始めましょう。

【トーク】郭 洋春(立教大学経済学部教授)/白井 和宏(市民セクター政策機構代表)
/林 良樹(アースアーティスト)/高坂 勝(ダウンシフター)



C-4 コミュニティーデザイン ～参加の「場」づくり～ 【企画】スタジオ・エル

3号館3102教室

社 会参加はどんなテーマの取り組みにおいても欠かせません。この分科会では、参加の場づくりに関する事例について、山崎亮が日本各地の事例を、ジョージ・ファーガソンがイギリスの事例を紹介します。これらを参考にしながら、「楽しさ×正しさ」を両立した場づくりについて考えます。

【トーク】山崎亮(コミュニティデザイナー、東北芸術工科大学教授)/ジョージ・ファーガソン(建築家、元プリストル市長、イギリス)



ローカリゼーション映画祭

ローカリゼーションを映画を通じて学んでみませんか?上映後は監督によるミニトークも。

A-4 幸せの経済学 × 食・環境から考えるエシカル

3号館3101教室

10:30~12:30 【企画】NPO法人APLA/パルシステム連合会/パルシステム東京/バタゴニア日本支社

価格や品質だけでなく、商品ができるまでの過程や、人や社会環境に与える影響を考えながら買い物をする、それが「エシカル消費」(倫理的消費)です。私たち一人一人の「選ぶ」「買う」が世界の食料・環境問題とつながっていることに気づく4本の短編映像を上映します。毎日の選択が、社会を変える身近な一歩であることを感じてみませんか?



「あなたはどのバナナを選びますか」(7分)
「Non GMO菜種油」(17分)
「いのちの育て方を問い直す 日本型畜産」(10分)
①「幸せの経済学」短縮版(20分)
②「Unbroken Ground (未開の領域)」(26分)

B-5 映画「ラダック 氷河の羊飼い」上映 + スタンジン監督トーク

3号館3101教室

13:15~14:45 【企画】NPOジュレー・ラダック

過酷な自然環境の中、たった一人で数百頭の家畜たちと共に生きる自身の姉の姿を丁寧に記録したドキュメンタリー作品。アウトドアドキュメンタリー映画祭BANFFマウンテンフィルムでグランプリを受賞するなど国内外で高い評価を得た。本フォーラムに向け、日本語字幕を制作。上映後は映画を撮影したスタンジン・ドルジェさんのスペシャルトークもお楽しみいただけます。

C-5 映画「100年ごはん」上映(英語字幕つき) + 大林千菜穂監督トーク

3号館3101教室

15:00~16:30 【企画】パルシステム連合会/パルシステム東京/NPO法人APLA/SF北海道/LoCoTable(ろこたぶる)

こどもたちの給食に地産のオーガニック野菜を! 大分県臼杵市が推進する有機野菜づくりを、産学官民が手を取り合い広げてゆく4年間の姿を追う、現代の「食」にとって何が大切かを考えるドキュメンタリーです。海外のゲストにも見ていただけるよう、英語字幕で上映します。上映後は大林監督と北海道で農・食に取り組むSF北海道代表の湯浅優子さんによるスペシャルトークをお楽しみ下さい。

